

奈良女子大学 21世紀COEプログラム 2008年度国際シンポジウム

《都城制研究集会》第3回

東アジアの複都制

1日目：2009年2月28日（土） 13：00～17：30

2日目：2009年3月1日（日） 10：00～17：00

会場：奈良女子大学理学部G棟1階 G101号教室（両日）

参加申込不要、無料（内容は研究者対象）

1日目：2月28日（土）

13:15-14:45 中国古代の長安と洛陽 漢代の長安と洛陽を中心に

劉振東（中国社会科学院考古研究所）

15:00-16:30 新羅五小京制と渤海五京制

梁正錫（韓国・水原大学）

16:30-17:30 コメント

妹尾達彦（中央大学）、佐原康夫（奈良女子大学）、

李成市（早稲田大学）

*紙上報告 中国複都制における洛陽 村元健一（大阪歴史博物館）

2日目：3月1日（日）

10:00-10:30 複都制下の難波京

積山洋（大阪歴史博物館）

10:30-11:00 複都制下の恭仁京

森下衛（京都府教育委員会）

11:00-11:30 紫香楽宮から甲賀宮へ

鈴木良章（甲賀市教育委員会）

11:30-12:00 日本古代宮都の立地

出田和久（奈良女子大学）

13:00-13:30 開発史からみた複都建設の諸条件 宮路淳子（奈良女子大学）

13:30-14:00 日本古代の複都制

舘野和己（奈良女子大学）

14:00-14:30 長岡京と複都制の終焉

清水みき（三重大学）

14:45-16:45 総合討論

司会：林部均（奈良県立橿原考古学研究所）

今泉隆雄（東北大学）

連絡先：奈良女子大学COE研究室

電話番号：0742-20-3779

主催 奈良女子大学21世紀COEプログラム「古代日本形成の特質解明の研究教育拠点」

共催 科学研究費補助金基盤研究（B）「東アジアにおける難波宮と古代難波の国際的性格に関する総合研究」

共催 科学研究費補助金基盤研究（B）「地理情報システムを用いた古代宮都の環境復元と環境史の研究」